がやチラ

Vol.7

ちょっと面白いコミュニティスペースでの毎日



発行責任者：吉田りこ

学びが人をつなぎ、まちを育てる ～社会教育とガヤChill.のこれから～

今年の9月、私は「社会教育士」という称号を取得しました。
社会教育士。あまり聞き慣れない名前かもしれません。
「社会教育」というと、公民館での講座や生涯学習、あるいは子どもたちの体験活動などを思い浮かべる方が多いのではないでしょうか。
もちろん、それらも社会教育の大切な活動です。でも、社会教育にはもっと広い意味があります。
それは、私たちが暮らしの中で学び合い、人とつながり、地域をよりよくしていくことです。
学校で学ぶことだけが教育ではありません。誰かと話して新しい考え方に出会うこと、知らなかった地域の課題に気づくこと、自分の経験を誰かのために役立てること。そんな日常の小さな出来事も、学びのきっかけになります。
そして、その学びが人から人へと広がり、地域の活動やまちづくりにつながっていきます。
社会教育士は、そうした学びの機会をつくり、人と人、人と地域を結びつける専門的な役割を担う人です。
教える人というよりも、一緒に考え、つながるきっかけをつくる人。
私は、そんな社会教育士でありたいと思っています。

まちづくりは、人と人との関係から

地域には、さまざまな人が暮らしています。
子育てをしている人、仕事に追われている人、学校に通う若者、長年地域で活動してきた人。年齢も立場も考え方も違います。
ひとりひとりが経験や知識を持ち、それぞれに地域への思いを持っているはずです。でも、その思いを話す機会は、意外と少ないのではないでしょうか。
「こんな場所があったらいいな」
「ちょっと困っていることがあるんだけど」
「こんなことをやってみたい」
そんな小さなつぶやきも、誰かと話すことで新しい発見につながります。同じ思いを持つ人が見つかったり、違う立場の人から思いがけないアイデアが生まれたりするかもしれません。
まちづくりというと、行政や専門家が行う大きな仕事のように感じます。
でも本当は、私たち一人ひとりの暮らしの延長にあるものです。
自分たちの住むまちをどうしたいのか。どんな地域であってほしいのか。
それを誰かに決めてもらうのではなく、地域に暮らす人たち自身が考え、話し合い、少しずつ形にしていく。
そのためには、まずお互いを知り、安心して話せる関係が必要です。
社会教育と地域を結ぶもの。それは、人と人とのつながりであり、対話なのだと思います。

オーナー吉田りこのSNSたち

RIKOMOGERA

今すぐチェック！

ガヤChill.でつくりたいもの

私がガヤChill.をつくった理由も、そこにあります。
ガヤChill.は、単なるカフェでも、イベントを開催するためだけの場所でもありません。
学校でも職場でも家庭でもない、地域の中にあるもう一つの居場所です。
誰かとおしゃべりしたり、静かに過ごしたり、新しい人に出会ったり。特別な目的がなくても、ふらっと立ち寄れる。
そんな場所を大切にしたいと思っています。
そして、そこで生まれた小さな出会いや会話が、次の何かにつながっていったらうれしいのです。
例えば、若者が大人に自分の思いを話せる機会。子育て中の人が悩みを分かち合える時間。自分の得意なことを誰かに教えたり、新しいことに挑戦したりする場。
地域の課題についても、難しい会議ではなく、お茶を飲みながら気軽に話し合うことから始められます。
そこで大切なのは、誰かが一方的に教えるのではなく、お互いの経験や考えを持ち寄ることです。
若者から大人が学ぶこともあれば、地域で長く暮らしてきた人の知恵が、誰かの新しい挑戦を支えることもあります。
また、話し合って終わりにするのではなく、必要に応じて人や団体、行政などにつなぎ、小さなアイデアを実現するお手伝いもしていきたいと思います。
もちろん、そこに来る人がみんな何かをしなければいけないわけではありません。
何もしないで、ただそこにいてもいい。誰かと話したくなったら話せばいい。
そんな安心できる関係があるからこそ、自然な学びや新しいつながりも生まれるのだと思います。

小さなつぶやきから、まちの未来へ

私は、ガヤChill.を、地域の人たちがゆるやかにつながる「リアルなSNS」のような場所にしたいと考えています。
SNSでは、誰かの何気ないひと言から会話が広がり、思いがけない出会いが生まれることがあります。
それを、顔の見える地域の中で実現できたら。
一人では小さなつぶやきでも、たくさん集まれば大きな声になります。そして、その声を持ち寄って考えることが、地域を変える力になっていくはずです。
社会教育は、特別な人だけのものではありません。

学ぶことに年齢は関係ありませんし、何か立派な活動をする必要もありません。
誰かと出会い、話し、知り、考える。その繰り返しが、人を育て、地域を育てていきます。
社会教育士として私がしたいのは、何かを教えることよりも、一人ひとりが持っている思いや力を、地域の中で生かせるようにすることです。

ガヤChill.を、そんな学びとつながりの生まれる場所に育てていきたい。
自分たちのまちの未来を、誰かに任せるのではなく、自分たちで考えていく。
その第一歩は、案外、何気ないおしゃべりから始まるのかもしれません。

ガヤChill.
店長日誌：夜カフェ12月START
11/21(土)14：00 チームりこ発足式
11/27(金)19：00議員BAR
「仕事や学校帰りに、理由がなくてもふらっと立ち寄れる夜の居場所」
一人でいたい気もするけど、誰かの気配もほしい。 ガヤチルの夜カフェは、なんだかゆれるキモチを抱えたままふらっと行けるゆるいカフェ。おしゃべりしても、作業しても、ただボ〜ッと静かに過ごしても大丈夫。ネット上にはない「温かいごはんと、傷つかない優しい人の気配」がここにあります。誰かと喋りたい気分のとき、なんだか心が折れそうなとき、孤独を意識してしまうとき、ガヤチルの夜カフェへ休みに来てください。あなたが「ここにいていいんだ」と思える場所をあけて待っています。夜カフェはガヤチルのinstagramで確認できます。

ガヤチル
コミュニティCafe?!
【木・土ランチ】レンタルスペース、野菜、ハンドメイドも販売中！気軽にお寄り下さい
【夜カフェ】始めます✨
詳しくは左記をご覧ください。
また、ご家族・お知り合いの方へ、チラシをお渡しいただけるとありがたいです。
越谷市大里226-1 1F（大袋駅徒歩10分）
コミュニティカフェ　ガヤChill.
Instagram